

平成 22 年 7 月 16 日

【政界再編を】 対馬市議会議員

民主党のうたれも、ここまで来たら、開いた口が塞がらない。前鳩山総理は、普天間問題を自ら提起し自ら自滅した。今回の菅総理はどうか。財務大臣の時に、消費税について、【逆立ちして鼻血も出ないほど完全に無駄を無くしてから】と消費税増税には正面切って反対したが、総理になると何を血迷ったか、民主党の選挙マニフェストも無い消費税 10%を提案。民主党、内閣にも図らず、記者会見で【自民党の公約 10%を参考にする。それを公約として受け取って頂いても構わない】と発言。何様のつもりか。参議院選で生死を賭け闘っている候補者はどうなる。それが国を代表する総理か。選挙終盤には、次期総選挙までは、消費税は上げない。低所得者の還付等火消しに躍起になったが後の祭りである。参議院は野党が多数。ねじれ国会の再来である。これでは国会運営は混乱を極める結果的に迷惑を被るのは国民である。

ヨーロッパのギリシャ国の財政破綻、我国の今年度予算、歳出九十二兆円、歳入の内税収は約三十七兆円、残りは借金である。均九〇〇兆円にも膨らんだ借金。社会保障費は自然増で毎年一兆円規模で増える。ギリシャと比較にならない程財政は緊迫状態。自民党も消費税 10%を公約としている。他党も共通するアジェンダ（政策課題）もある。

此れからの混迷国会を回避し国民の為に、民主、自民問わず、全政党をミキサーにかけ一旦粉々にして、遠心分離機にかけ、比重の違いによる政界再編が必要である。

Wサッカーはスペインが初優勝した。ドイツの水族館の【予言ダコ】パウル君ではないが、それぞれが住みやすい蛸壺に入るのがよい。谷垣総裁ではないが【一番】である。

政界再編を発している党もある。政党の為に、国家、国民の為にパウル君に習うべきではなかろうか。

対馬市議会議員

小宮教義